

情報活用能力育成のための指導事例【小学校 第5学年 特別活動（学級活動）】

単元・題材名	インターネットについて知ろう	指導時間（本時）	1 / 1
本時の目標	教科・科目	・ インターネットの長所と短所について知り、ネチケットを守ろうとする態度を育てる。	
	情報教育（3観点8要素）	<p>[実践] ■課題や目的に応じた情報手段の適切な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ブラウザの基本機能（リンク・戻る・お気に入り等）を使える。（モA21-2-110） <p>[態度] ■情報モラルの必要性や情報に対する責任</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ルールやエチケットを守らない事例を知り、何がよくないのか考える。（モC31a3-060） ・ ネットいじめの現状と影響を考える。（モC31a3-070） 	
活用する主なICT機器等	■コンピュータ ■電子黒板 ■インターネット ■Web上のデジタルコンテンツ		
本時の概要	インターネットを活用し、情報モラルに関するWebページを参照させ、インターネットの長所と短所について考えさせる。また、情報モラルも含めた情報社会に参画する態度を育成する。		
本時の流れ	主な学習活動	ICT活用の工夫及び留意点等 (○：教員の活用, ◎：児童生徒の活用)	
	導入	<p>1 インターネットとはどのようなものか考える。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。 インターネットの長所と短所について考えよう</p>	<p>◎ インターネットを活用させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 実際に言葉の意味を検索ページで調べさせる。 ※ 普段から課題解決学習の中で利用しているが、常に世界中とつながっていることに気付かせる。
	展開	<p>3 インターネットの長所と短所について考える。</p> <p>4 インターネットを利用する時の注意点について学ぶ。</p> <p>5 ネットいじめの実態について知り、ネットいじめはなぜ起こるか考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短冊黒板に自分の意見を書かせ、黒板に貼らせる。 ・ 黒板に貼られた意見を分類させる。 ※ 長所だけでなく、短所として、使い方によっては様々な悪い利用法もあることにも気付かせる。（中毒性や犯罪性、ネットいじめなど） ・ 個人情報の流出の危険性に重点をおいて指導する。 <p>◎ Webページ（ネット社会の歩き方）から、「ネットいじめは人権侵害」の事例を視聴させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 児童自ら考えさせる活動を重視する。 ※ 実際に起きた事案も紹介し、身近に起こりうる問題であることを意識させる。
	終末	6 本時を振り返る。	・ インターネットを正しく活用することが、今後ますます求められることを認識させる。
使用した教材・資料（コンテンツ）	<p>○名称・出典・内容など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ネット社会の歩き方（GEC：一般財団法人コンピュータ教育推進センター） <ul style="list-style-type: none"> ＜内容＞インターネットを使うに当たって注意しなければならない、個人情報の流出やネットいじめ、ネット詐欺、著作権侵害、匿名性の悪用など、様々な問題点を、観点ごとに分かりやすくフラッシュアニメーションで解説されている。 ・ ネチケットを学ぼう（ディズニー公式サイト） <ul style="list-style-type: none"> ＜内容＞「サイバーネチケットコミック」と「ネチケット・アドベンチャー」で正しく、安全なインターネットの使い方を学習できる。 		
ICT活用の指導上のポイント	・ 小学校段階では、情報モラルの必要性や情報に対する責任に関し、ネットワーク上のルールやマナーを守ることの意味などについて、考えさせる活動を重視し、理解させる。		
備考	<p>○ICT活用に関して日頃から気を付けていることなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に行ったり見学したりすることが難しい内容は、デジタル教科書や動画資料、NHKデジタル教材等を可能な限り活用している。 		

【本時の目標における情報教育（3観点8要素）の略記について】

「情報活用の実践力」→ [実践], 「情報の科学的な理解」→ [理解], 「情報社会に参画する態度」→ [態度]
「情報活用能力育成モデルカリキュラム」の対応番号→モ番号